

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.3

1959(昭和34)年に市役所に無線局が開設され、市役所からのお知らせを無線で放送できるようになりました。開設当初は個人の敷地やお寺、駐在所など、市内14か所にスピーカーが設置されました。それまで市政だよりや掲示板を利用していた市からのお知らせを速やかに届けられるようになり、災害時や防犯への活用も大いに期待されました。

皆さんにいち早く情報が届けられるようになっただね!



現在は70か所以上にスピーカーが設置されているよ

“電波で伝える市政”無線放送スタート

1959(昭和34)年

午前6時30分と午後9時30分に時報、午前10時30分と午後3時30分に市政ニュースが放送されたんだ!



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ』のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所所長・教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



しがほつやまキッズ集合!

おしえて『文化財』

道標「八王子道」



道標とは、今でいう交通標識(道案内)のことです。高坂に建てられた安永10(1781)年銘の道標「八王子道」もその一つです。右側面に栃木県日光方面、吉見観音安楽寺(吉見町)を示す「右日光 よしみ いわどの 道」、左側面には秩父方面、岩殿観音正法寺に向かう巡礼道への道しるべ「左ちづぶ ひき いわどの 道」と刻まれています。

現在の東京都八王子市から栃木県日光市を結ぶ八王子道は、千人頭10人が率いる同心1,000人で構成された八王子千人同心が通った道です。千人同心とは、天正18(1590)年に江戸の西側、八王子近辺の治安維持を目的に組織された集団で、戦のない平和な時代となってゆく慶安5(1652)年からは、徳川家康が祀られた日光東照宮を守る、日光火の番役という重要な役目がありました。八王子から、扇町屋~坂戸~高



道標「八王子道」

坂~松山~行田~佐野~栃木まで各宿を経て、日光へと約157キロメートルの道のりを3泊4日で移動し、当初は50日、後は半年交代で勤務しました。慶応4(1868)年に千人同心が解散するまでの216年間で1,030回、勤番したとの記録があり、重要な道であったことがわかっています。

問 埋蔵文化財センター
TEL 27-103333 FAX 27-10334